



八王子盲学校だより



令和6年1月発行 第9号
東京都立八王子盲学校長 安田 咲登子

「わかる、できる」を探し続ける

校長 安田 咲登子

皆様方におかれましては、新しい年をお健やかに迎えになられたことと存じます。本年も本校の教育活動への御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、次のページには ICT 機器の活用について特集されています。私は本校に着任した当時、点字・墨字を問わず、ICT機器を気軽に使いこなす生徒の姿にびっくりしたことを覚えています。手前味噌になるかもしれませんが、他の特別支援学校に比べても本校での活用は進んでいるのではないのでしょうか。コロナ禍には必要に迫られ、政策としても大きな後押しがありました。しかし、次々導入される機器を自身が学び、環境を整え、使えるようにしてきた本校の教員の努力も大きかったのではないかと自負しています。

今年度は「攻め(挑戦)と守り(継承)の二刀流」によって学習指導を充実させることを学校経営計画の重点に掲げました。年齢や発達段階に応じて、触察や実体験と ICT 活用をどちらも大切にして学びやすくすることで、将来にわたって学ぶ意欲を育てたいと考えたためです。その一環として、視覚障害教育において、様々な ICT スキルをどの時期に、どのような内容を身に付けたいか、指導する上での配慮や注意事項は何か、という系統表を現在まとめています。教科書等があるわけではないので、なかなか大変です。そして、教員の中にも得手不得手があることは否めません。しかし、学校としてある程度のベースを作り、互いに良い実践を学びあうことで、オール八盲としての力を高めていきたいと考えています。

「人が物事を理解するプロセスを探求し、物事を分かりやすく教える手段を追求する姿勢」は視覚障害教育において特に大切にしたいことです。視覚からの情報が入りにくいからこそ一つのことが「わかる、できる」ためにはどのような過程があるか、どのようなステップが必要なのか、分解して、また再構築し、よりよい方法を探し続けたいと思います。



<校舎改築に関する工事等の予定>

1月9日(火)より工事を再開します。

1月は、埋戻し・鉄板搬入と整備・鉄骨組立・砕石などが予定されています。

騒音レベルは引き続き「小」と見込まれます。

御理・解御協力をよろしくお願い申し上げます。

<一人1台端末って？ ～ICT端末についての御紹介～>

よく耳にする「一人1台端末」とは、どんなものなのでしょう。少し、御紹介したいと思います。

<小学部と中学部>

小学生と中学生には、国の「GIGAスクール構想」に基づき、児童・生徒一人につき1台の端末が貸し出されています（本校または特別支援学校はタブレット端末[iPad]、キーボード、ペンの3点セット）。

特別支援学校のGIGAスクール端末には、教育庁が様々な設定を施しており、その設定はインターネット経由で適用される仕組みになっています。

この端末は家庭への持ち帰りも可能です。

<高等部普通科・高等部本科保健医療科>

高校生は、東京都の「スマートスクール構想」に基づき、負担上限額が設定された上で、学校指定の端末を購入することになっています。ただし、特別支援学校の場合は、購入に際して保護者負担が生じない形になっています。

本校指定の端末は、iPadかノートパソコン（Surface Laptop Go）です。視力等を鑑みて、活用しやすい方を購入いただいています。

<活用例>

本校の端末の活用例としては、小学部では、学習アプリの利用やインターネット検索、PDF版拡大教科書での教科学習を、更に中学部以降は、Teams（チームズ）、One Drive（ワンドライブ）、Microsoft Office365のWord（ワード）やExcel（エクセル）等による文書作成、メッセージデータの送受信、ファイルの管理などの学習を行っています。

<点字ディスプレイ（ブレイルメモ）について>

ブレイルメモとは、携帯できる点字の電子メモ帳です。

機器の上部に配列された6点の点字キーボードで入力が行えます。

パソコンの「スクリーンリーダー」という「活字の音声読み上げ機能」を利用して情報を取り込み、点字として表示する点字携帯端末としても利用できます。

点字だけでなく、テキストのデータ作成/編集や音声読み上げ機能、ボイスレコーダー機能、デジ再生機能も付いています。

生活のメモ、スケジュール管理から授業中のノートテイク、読書まで、幅広く活用できます。

現在の福祉制度では、点字ディスプレイの購入補助費の対象年齢が18歳以上となっているところが多く、普通科生徒は在学中に補助を受けて自分の機器を購入することができないことがあります。そこで、文部科学省の予算で、各校に貸し出し用の点字ディスプレイが配備されることになりました。

本校では、点字生（点字盤とパーキンスの読み書きに習熟した者で申請を認められた者）を対象に、「ブレイルメモ」貸し出しが、日を連続して可能になりました。

始まったばかりの「一人1台端末」の制度、「先進技術」と「実体験」の「二刀流」で、より豊かな学びを実現していきたいと思えます。